

## 広聴広報委員会会議記録（概要）

令和6年9月19日（木）

開 会（午後4時10分）

### 【議 事】

#### ○議会報告会について

秋田委員長

初めに、議会報告会についてです。前回の委員会において、11月に開催する議会報告会に参加していただける議員については会派持ち帰りとし、本日報告していただくことになっていました。前回、中井委員から都合が合えば参加してもよい旨の発言がありましたが、いかがでしょうか。

中井委員

11月25日の議会報告会に参加可能である。

秋田委員長

そのほかの委員の皆さんは、いかがでしょうか。

石本委員

両日とも末吉議員が参加できるとのことだった。中井委員が11月25日ということであれば、11月6日の議会報告会に参加可能である。

秋田委員長

それでは、11月6日の所沢西高校生徒との議会報告会は、末吉議員、25日の所沢高校生徒との議会報告会については、中井委員に対応していただきますので、よろしく申し上げます。続いて、来年度の議会報告会についてです。前回の委員会で、来年度の議会報告会の開催方法についても

会派持ち帰りとし、本日報告していただくことになっていました。それでは、公明党から順次報告をお願いします。

亀山委員

私たちの会派としては、所沢高校の生徒、所沢西高校の生徒とそれぞれ1回ずつ、早稲田大学の学生と1回、市民向けに1回の合計4回開催するという意見である。

秋田委員長

市民クラブ未来はどうか。

中委員

私たちの会派としては、今年初の試みとして高校生を対象に開催し、参加者のアンケート結果も好評だったこともあり、そこから我々議員も得られるものがかなり多かった。できれば、来年度も高校生を対象とした議会報告会を継続したいということと、早稲田大学とはキャリア教育プログラムに関する覚書を締結し、インターン生の受入れを行っているので、市内にキャンパスがある早稲田大学と、もう少し交流を持ちたいという意見もあった。また、市民向けも開催したほうがよいという意見もあったので、市民向けに1回開催するという意見である。

秋田委員長

さきがけはどうか。

長谷川委員

私たちの会派では開催回数については意見が出なかったが、高校生を対

象とした議会報告会は来年度も開催したほうが良いという意見と、早稲田大学の学生とも同様にやったほうが良いとの意見が出た。

秋田委員長

立憲リベラルの会はどうですか。

石本委員

議会事務局の負担などを考えると、議会報告会の開催は年4回ということで、皆さんの意見と同様に、高校生2回、大学生1回、市民向け1回ということでいいと思う。

秋田委員長

自由民主党・維新・参政・無所属の会はどうですか。

神戸委員

私たちの会派としては、年4回の開催が限度であるということと、今回開催した高校生との議会報告会がとてもよかったので、高校生、大学生を含めた若者を対象に開催したほうが良い。あとは市民向けも対象に開催するという、公明党とほぼ同様の意見であった。

秋田委員長

日本共産党はどうですか。

花岡委員

私たちの会派としては、今までどおり市民向けに4回開催すべきだと思っている。それに加え、高校生向けの議会報告会がとても評判がよかったので、夏休み時期の7月、8月頃に1回やれば良いのではないかという意

見である。

秋田委員長

至誠自民クラブはどうですか。

大館委員

私たちの会派も、高校生2回、大学生1回、市民向けに1回の年4回開催という意見である。

秋田委員長

各会派から意見をいただきましたが、おおむね年4回、そのうち高校生が2回、市内にキャンパスがある早稲田大学の学生が1回、市民向けが1回という意見が多いですが、いかがでしょうか。

花岡委員

先ほどの説明が不十分だったと思うので再度説明させていただくが、一般市民向けを4回、夏休み時期に高校生を対象として1回開催するという意見である。

秋田委員長

他の会派の委員の意見としては、年4回の開催で、そのうち高校生2回、大学生1回、市民向けに1回との意見ですが、いかがでしょうか。

大館委員

それでよいと思う。

中委員

年4回開催するというのは、結構大変である。これを決めたときも、5

月に2回、11月に2回だから3月定例会の終わったところと、9月定例会の終わったところで集約してという、事務局の事務負担もあるし、我々のスケジュールを空けてくという、その辺を考慮して日程を決めてきたという経緯があるから、4回の枠だけは、できればあまりはみ出さないほうがいい。その上でどうしようということで、市民向けが1つ、高校生は好評だった、大学生ともやりたいという、皆さんの思いもあって、今の案が出てきていると思うので、できればそこに同調していただいていったほうが、これからもスムーズに行くと思うので、よろしくお願ひしたいと思う。

石本委員

平成28年と平成30年に、みみ丸カフェを開催した。平成28年に初めて開催したが、そのときの議論は、翌年も開催できればいいと言っていたが、パワー的に大変で、でも、もう1回やりましょうとなって、平成30年は8月にやった。当時は、市民向けの議会報告会4回にプラスして、みみ丸カフェを開催しているので、花岡委員や中井委員の会派が言っている理屈からすると、議会報告会を実際5回やった計算になる。それ以降、みみ丸カフェを復活させましょうという意見が少なくとも前期ではどこの会派からも1回も出てこなかった。それと7、8月に高校生を対象に開催するというが、事務局の職員は夏休みを取る関係もあるので、早く決めてあげないといけない。だから、今日はどういう結論になるのか分からないが、同じ会派の先輩議員である小林議員や矢作議員にそのときの総括をどうだったのかというのも思い出していただきたい。先ほど、中委員が言

ったように私も年4回は大変だと思う。それと、去年は中井委員、長谷川委員、大庭議員に担当していただいた所沢こどもルネサンス事業の「こども会議@トコトコタウン2023」で小学生が議場見学に来たが、結局出席できた議員は3人だった。だから、中委員も言っていたが、8月は結構皆さんも大変だと思う。だから、もし会派に持ち帰るなら、その辺は言っていたきたい。

中井委員

一度、会派に持ち帰らせていただいてよろしいか。

休 憩（午後4時20分）

再 開（午後4時25分）

中井委員

やはり市民向け4回の開催は譲れないということで、もう少しこの件は話し合っていきたい。

秋田委員長

このような意見がありましたが、いかがでしょうか。

大久保委員

市民向けの4回にこだわられている背景というか、その辺りを伺いたい。

中井委員

議会報告会はもともと、市民に対して議会の活動を説明するというところから始まっていて、その回数というのは4回やっていくことが、市民に対しての議会の責任だと思っている。4回の理由になってないが、やはり市民に対して、高校生だったり大学生というように枠を狭めてしまわないで、市民向けの議会報告会の中に高校生や大学生が入ってきてもいいのだから、多くの市民に議会の報告をするということが大事だと思っている。4回にこだわっている理由にはなっていないが、もともと4回やっていて、それは市民に対してやるべきだということである。

花岡委員

今まで4回やってきたということで、この回数を減らしてしまうっていうのは、議会の情報を積極的に公開するという議会の考え方に反するのではないかと思う。回数を減らすと市民の方からしたら、なんで減らしたのかと説明を求められると思うので、やはり慎重になるような話なのかなと思う。

秋田委員長

他に意見ございませんか。

石本委員

そういう意見も全く理解しないわけではないが、34万人の市民がいて、有権者でいくと29万人で、最近議会報告会に来るのが30人から40人ぐらいである。そうすると、残念だが有権者の1万人に1人ぐらいしか来ないわけである。これは、議会改革の関連で所沢市議会に行政視察

に来た他の市議会議員の方々から「所沢市は人口34万人もいるのに、これしか来ないんですか」ということは過去、私は視察受け入れ70回以上やっているが結構聞かれる。また、残念だが参加者も固定化してしまっており、議会報告会が始まってから約14年間の我々の課題になっていたという感じである。議会報告会の事例として、平成24年11月に狭山ヶ丘コミュニティセンターでやったときに、藤本前市長が狭山ヶ丘中学校にエアコンをつけるかどうかという話になって、つけないと言い出し、狭山ヶ丘中学校の地元で開催したが、あの時で参加者は68人である。当時、私は広聴広報委員長だったから、正直言って参加人数が少なくてショックを受けた。だから、そこまで言うが、実際どうなのか。かつては1回に80人ぐらい来ていたのが、今はもう30人とか40人とかすごい減ってることもあって、高校生にかじを切るという、新規のマーケットを探しに行ったという背景もある。私は過去の議論もあったので、そこまで言うなら、矢作議員や小林議員は当時のことを分かっているわけだから、どういうふうに総括されてるのか聞いてみたいくらいだ。市民向けに絶対4回開催することに固執する理由と、さらにこれに高校生とやるとした時に事務局の負担を増してでもやるという総括とか、どういうふうに判断しているのか、ぜひ本人に聞きたいくらいだが、2人は広聴広報委員会の委員ではないので聞いてもしょうがない。2人はどのように言っていたのか。小林議員は3年前に広聴広報委員会の副委員長をやっていたのだから。

秋田委員長

矢作議員、小林議員は何とおっしゃっていましたか。

中井委員

4回市民向けにやらないと説明がつかない。減らすべきではなく、それと高校生とやるのは、それとは別な形でやるべきだと言っていた。

花岡委員

4回の開催を減らすべきではないというようなことを言っていた。以前もみみ丸カフェを1回やっているのだから、4回プラス1回でよいのではないかというのが会派の考え方である。

亀山委員

平成27年に選挙権年齢が引き下げられ、18歳の方が投票できることになり、やはり若い人たちにしっかりとそういった意識を持ってもらいたいということと、声も聞きたいということがあって、ずっとそれは提案されてきたことが具体化しなかった。それで、令和4年度のときに具体的に高校のほうで受けていただけるということで、議会報告会を4回やった上に、所沢西高校と所沢高校にこちらから出向いて意見交換会という形で開催をした。その年は、その間に所沢こどもルネサンス事業の小学生の議場見学の受入れも広聴広報委員会で行ったので、とても大変な忙しい年だったという印象があって、そのために広聴広報委員会のメンバーで有志を募って参加した。皆さんでスケジュールを組むというのはとても難しいのと、もちろん事務局職員はものすごく忙しそうだった。なので、私は4回になるべく収めていくほうが有意義だと思う。

大久保委員

議員になる前、議会報告会は年4回開催と聞いたときに、各定例会後に1回ずつ報告して4回開催すると思って、毎定例会後にやるというスケジュールなのかと思ったが、蓋を開けてみれば年に2回に分けてやっているから、必ずしも毎定例会終了後に開催しなければならないということではないということで、昨年1年だけだが、市民の方との議会報告会に参加させていただいて、やっぱり結構同じ顔ぶれがいらっしやっていた。初めて参加してみてよかったという方もいたが、いつも来られている方に時間を取られたというような感想もあったかと思う。今年度は市民向けの議会報告会の開催がゼロになっているところを、来年度1回復活させることで、50人、60人の方に参加していただけるというような、いい意味で盛り上がってくればいいのではないか。あえて絞る、市民向けを1回にするということで、その1回を大事に来てくれるの方や、新たに参加される方がいたり、常連の方が占領したりというバランス的なところも考えて、来年度は皆さん多くの方が提案している、高校2回、大学1回、市民向け1回というスタンス、リズムでやってみて、その反応を見てまた考えるということでもいいのではないかと個人的には思う。

長谷川委員

日本共産党の意見では、市民向けに4回と高校生に1回ということだと思いが、高校生も同じ市民だと思う。高校生を軽視してよい理由というのではないと思う。だから、高校生とか早稲田大学とかそういった若い世代も

大切にしていけるのが大事だと思います。

中井委員

若い世代を軽視しているわけではなく、市民向けの議会報告会にも、高校生、大学生に来てもらっても大丈夫だということである。特別に高校生、大学生向けにやれば、それだけ多くの人に来れるのかもしれないが、もともと議会報告会は人数制限をしていないので、やはり多くの方の機会が失われてしまう。市民の方が1回しか参加できないということは、そこにたくさん来られてもいいのかもしれないが、そのとき来れない人たちもいるだろうし、やはり市民の方が参加できる機会を奪うのはよくないのではないかと考えている。

秋田委員長

これまでの広聴広報委員会の協議の中で、委員会として今年度はこのような形での開催となりました。ただ、先ほど石本委員が説明をされていたけれども、藤本前市長のときの狭山ヶ丘中学校にエアコンをつけるつけられないという話があったときに議会報告会を開催した時の参加者が68名ということがありました。例えば、エアコンをつけるつけられないといったような、所沢市を2分、3分するような話になったときには、高校2回、大学1回、市民向け1回でスケジュールを組んでいたとしても、市民の意見を聞いたほうがいいのではないかとときには臨時で議会報告会の回数を増やすといった発案もできます。皆さんが賛同していただければ開催できるわけですから、私はそういう形でもいいのではないかと考えていま

す。4回以上やると本当に負担になるということで、今回このようにかじを切ってやったわけですし、これまでもみみ丸カフェを開催する際、城下元議員と大館委員で市内の高校を回っていただいた経緯もあります。また、これまでも若年層を対象とした取組を行っていることは先輩議員も分かっているはずですので、御理解をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。ただ、本当に何かのときにどうしてもやらなければならない、市民の声を聞きたいというときには開催していいわけですから、委員会の中で投げかけていただいても構いませんし、私に相談していただければやります。

斉藤委員

中井委員の意見で、市民向けを4回開催し、その中で高校生や大学生に来てもらってもいいし、高校生に来てもらってもいいという議会側のスタンスは分かるが、過去に開催した中で高校生や大学生が実際に来た人数はどのくらいなのか。

秋田委員長

ほとんど来ていません。今回、私が委員長をやらせていただいて、今年度初の試みとして高校生を対象に開催しました。参加者が固定化されたり、人数も減ってきたりしたので、前期の広聴広報委員会において、18歳選挙権のことで動いてきた中で、全ての経緯を鑑みてこういう形を取らせていただきました。私も昨年の広聴広報委員会で提案しましたが、PTAや児童生徒の保護者の方は、ほとんど来ていただいたことがないので、

例えば各中学校単位で学校を回ったりしてもいいと思います。教育委員会を通して開催したい旨を伝えてもよいですし、そんなことも考えてもいいのではないかと思います。ただ、せっかく高校生を対象にした議会報告会を始めたばかりなので、違うことにチャレンジしてもいいかなということとやったわけであります。繰り返しになりますが所沢市を2分する様な話のときは、広聴広報委員会の中で「やりましょう」ということになれば、その際は議会報告会を開催しても私は構わないと思っています。

斉藤委員

そういうことであれば、高校生だけ、大学生だけにしてあげないと、なかなか若い方たちは参加しづらいと思う。高校生2回、大学生1回、市民向け1回のバランスがいいのではないかな。やはり、これからの若い子たちのために市政をつくっていかねければならないので、それがよいと思う。

秋田委員長

早稲田大学の学生については、議会側としても大学生を対象に議会報告会をやりたいと思っていた矢先に、担当の教授から、昨年、島田前議長に「ぜひ早稲田大学を対象に、議会報告会を開催していただきたい」をいう話がありました。その話は会派代表に伝えてあったのですが、会派内で報告はありませんでしたか。そういったこともありますので、できれば高校生2回、大学生1回、市民向け1回ということで、来年度はやってみたいと思うのですが、どうでしょうか。

中委員

多分、これは過去の経緯からずっときている流れになってると思う。相当皆さんが苦勞して、改善を重ね、市民の方の意見を聞いて、どういうやり方がいいだろうと考えてきた。参加した皆さんが一番聞きやすいやり方、また、発言しやすいやり方だとか、いろんなことを経験して、それでようやく今のところまできている。もう少しこれをやった中で、今、大学からの話もあり、そういったものも含めて全てやっていくということだ。だから、何もやらないでこれから行こうということではなくて、今回少し色を変えてやってみましょうということだから、まずはそれを飲んで、それでそこからもう一度、反省点があるのであれば、また改善していけばいいというふうに、少しずつやっていくほうがいいと思う。

石本委員

通年会期制導入の際、まちづくりセンター4ヶ所で市民説明会を行った。昨年、私は議会運営委員会の委員ではなかったから分からないが、聞いた範囲だと参加者が10人もいなかったというのがほとんどであり、残念だが、その程度の関心しかない。中井委員や花岡委員の言い分も分からなくもないが、現実の話として、いくら学生さんも来れると言っても来ない。若い人たちに聞けば、やっぱり嫌だと思う。前にもあったが、私の知り合いが議会報告会に来たことがあり、その人は「議員はいつも公私共々お忙しいようですが、何が忙しいんですか」という素朴な疑問だけ聞いたかったが、前の質問者が市政に詳しくて、「第5次所沢市総合計画は何々で」と難しい質問をしたので、嫌になってしまって帰ってしまったことが

あった。実際、中井委員や花岡委員は過去の経緯を見たことはあるのか。平成22年から始まって、各地域に出向いたほうがいいのではないかという事で、市内のまちづくりセンターを全部回ったが、それも失敗し、参加者も減ってきて、場所も最近は全員協議会室でやるようになった。結局、地域を回っても効果がないということも分かった。変な話だが、我々は失敗をずっと続けてきて、13年、14年経った。だから、私は高校生向けも3年間ぐらいやってみて、高校生がだんだん減ってきたとか、逆もあり得ると思う。所沢北高校などからも参加の意向があるかもしれないので、最低でも3年ぐらいやってみないと検証できない。少なくとも、我々がここに踏み切ったのは13年間の失敗を踏まえてやってきたわけだから、そのことをどういうふうに考えているのか。ただ、今日どうしても納得できないんだったら、具体的に5回やったらどういうタイムスケジュールなのか、もちろん準備期間も含めて、次回の広聴広報委員会で提示していただきたい。

秋田委員長

石本委員から発言がありましたけれども、例えば3年ぐらいやってみて検証するという意見については確かにそのとおりだと思いますし、今は所沢高校と所沢西高校と分けて開催していますが、もしかしたら、所沢北高校とか所沢中央高校、所沢商業高校や芸術総合高校の生徒が高校生向けの議会報告会の話聞いて、ぜひ参加したいというようなことになってくれば、高校生向けに1枠でやってもいいと思います。また、早稲田大学の学

生も高校生と一緒にやってみようということになってくれば、市民向けの回数も増やそうということになるかもしれません。いろいろなバリエーションがあってもいいと思いますが、とりあえず始めたからには、ある程度続けていきたいですし、高校の先生からも開催を継続してほしいという要望もいただいていますので、ある程度続けていかないと申し訳ないという部分もあります。また、今定例会で2人の議員が議会報告会で出た高校生の提案を一般質問として取り上げていただいた。そういったこともありますので、ぜひともこれは続けていきたいと思います。先ほども申し上げましたが、何かあったら議会報告会を開催して皆さんの声を聞くこともできますので、その辺は了承いただきたいと思うのですが、どうでしょう。

大館委員

矢作議員と小林議員にも聞いてもらいたいが、これまでの議会報告会の参加人数の中には市の職員が相当入ってる。私も何回も各地区を回っているが、実際に来てくれた人は本当の数人で、他は職員が結構いたということもあった。あとは毎回来られる人で、それをどうしたらもっとよいものにできるかということを皆で話し合っただけで決めてきた。そのときもちゃんと日本共産党の委員もいたと思う。5年ぐらい前からいろいろ視察をして、今回の内容での開催となった。先ほど、委員長から私と城下元議員が全高校を回ったという話があったが、その際も、事務局職員に骨折りをしていただいた上で、私たちが回っているわけである。だから、そういう意味で、議員だけでできるわけではなく、その周りの協力が半端なく大変なわけで

す。今回、高校生を呼ぶにあたって相当根回しして、校長先生や先生方から相当の協力を得て返事をいただいているわけである。そういう意味でこういう結果になったので、先ほどから皆さんが言っているように、やはり少しやった結果でよくないとか、またもっとこうしたほうがいいではないかということがあれば、それはそれでまた変えていけばいい話で、やらすぐ戻すとか、そういうことではないと思う。

花岡委員

皆さんの話を聞いて、今まで高校とやり取りをしてきて、苦勞して議会報告会をつくってきたことはすごく伝わってきたし、事務局職員もすごく苦勞されていることも分かった。しかし、私も議員1年目なので、やはりこの場で判断できない。

中井委員

私も委員としてここに来てるのに判断ができないのは本当申し訳ないが、やはり会派に持ち帰らせていただきたい。

休 憩（午後4時50分）

再 開（午後4時55分）

中井委員

今回は多くの方が提案している形式で行うことで了解します。ただ、終わった後に、ぜひ市民の方の声をぜひ聞いていただきたいと思います。

もし何かあったら、また変えていくということを確認したい。この形がずっと続いていくということではなく、また市民から声があったり何かがあったら、この形を変えていくということもあり得るということによいか。

秋田委員長

先ほどから申し上げてますけれども、議会報告会は年4回の開催で、高校生2回、大学生1回、市民向け1回と決まったとしても、もっと一般の市民の方の声を聞きましょうというような委員から意見が私のほうにあったときには、広聴広報委員会を開催して、その都度、議会報告会を開催するか否かを検討するという形をとっていきたいと思っています。

花岡委員

多くの方が提案している案を見直すということか。市民からこういう方式の議会報告会がいいのではないかというような提案があると思う。そういった提案を議会として受け入れる方法は何かあるのか。

秋田委員長

もう少し具体的に説明していただけないでしょうか。

花岡委員

例えば、議会報告会4回開催の内訳がこれで決定し、今回これで試験的にやるということになった場合に、この割合をこういうふうにしてほしいとか、そういう市民からの声を受け入れるというのは、どういったところで受け入れる機会を設けるのか、どういったところでそういう意見をいただくのか。

秋田委員長

もう少し具体的におっしゃっていただけますか。

花岡委員

この4回の内訳がこのまま固定化されてしまうというのが、委員長は緊急で事件があったら、それができますということ saying していたと思う。この4回の内訳を今後変更することがあると思うが、例えば市民がやはり4回やってほしいという意見があった場合、そういった意見を議会が受け入れる、聞くことができる機会をちゃんと設けていただけるのか。市民と一体で考えていっていただける機会はあるのか。

秋田委員長

もう少し具体的におっしゃっていただけますか。

花岡委員

4回の内訳を見直すというのは広聴広報委員会の中で今後も設けていくということか。

石本委員

今まで市民向けの議会報告会4回の開催をやってきたが、今回見直したわけなので、例えば高校生向けをやっていたら、だんだん参加者が減ってきたとか、評判が悪くなってきたりしたら、やはりそれは変えなければいけないのではないかという話になる。少なくとも、今まで参加者がどんどん減ってきた歴史があるから変えましょうという議論があったわけであって、変えたから人が増えるのではなくて、それはもはや変えてどうい

結果が出るか分からないから、最低3年ぐらいは様子を見たほうがいいのではないかと言った。

中井委員

それは多分、議会側からの意見だと思う。花岡委員が言いたいのは、市民がもっと変えて欲しいというような声はどこで聞いたらいいのか、市民はどこに言ったらいいのかということだと思う。話し合う場所が広聴広報委員会なのか、それとも議会事務局に言えばいいのか。それとも、何かほかどこかあるのか。

青木委員

今まで市民向けに開催してきたが、市民向けの回数を減らしたというのは参加者が集まらない、来る人も限定的だったからである。中井委員が言ってる市民の声と言っても、市民のほんの一部の声だと思う。例えば、市民向けにやって、50人、60人ぐらい来たとか、そうなってくれば、やはりそれは考えなければいけない。実際に以前、各まちづくりセンターを回ったが、富岡まちづくりセンターで開催したときは10人ぐらいしか来ていない。市民が、そういう状況なのでいろいろ変えていきたいと思いますということである。また、選挙権、成人年齢が下がったので高校生をターゲットにしようといった話は以前からあったので、いろいろな苦勞をしてやっと開催できた。やはり、ある程度実績とか結果を見て、それで検討するべきではないか。

秋田委員長

例えば、高校生と始めたばかりだが、やってみてこうしたほうがいいのではないか、所沢高校と所沢西高校を一緒にできるのではないかとか、いろいろ意見がそのときそのとき出てくると思います。だから、こうじゃなきゃいけないということは、一つも世の中にはないので、その辺は御理解いただきたいと思います。よろしいですか。

中委員

今後、検討しないということではない。最終的にこの委員会で話をして決めるということなのだから、市民の声を聞いてきて発言すればいいし、それに皆さんが賛同すればその方向に行くわけで、その努力をしないといけない。

石本委員

広聴広報委員会は政策討論会も所管してる。例えば、今後、国民健康保険税が上がりそうだという話になっているときに、健康福祉常任委員会で、そのテーマで政策討論会をやりましょうという話は全く出てない。だから、多分、値上がりしたら相当な人たちがいろいろ言い出してくる。各議員に「なんで上がったんですか」とか。でも、そういうことが十分予見されていても、中井委員が所属している健康福祉常任委員会では、全くそんな話が出てない。今回は植竹委員長が市民文教常任委員会で政策討論会を開催するが、そういう具体的なテーマでやろうと思ったら、ターゲットを絞ってやれる。議会報告会はテーマなしのオールラウンドである。いろいろツールはあるわけだ。それも全部きちっと使い分けることとかも、先

輩議員から教わってきているのかということをお願いしたい。再三、常任委員会で政策討論会の開催を促していたが、去年は声が上がらなかったから新人議員にやっていただいた。花岡委員には座長として汗をかいていただいて感謝している。議会報告会だけではなく、市民から聞くツールはいくつもあるわけなので、ぜひその辺も全体を見て、ちょっと考えていただければと思う。

秋田委員長

臨機応変にやっていきたいと思いますので、御理解いただきたいと思えます。始めたばかりなので、とりあえずやってみないとということなんです。来年度の議会報告会は高校生を対象に2回、早稲田大学の学生を対象に1回、市民向けに1回の4回でやりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員了承)

### ○その他

秋田委員長

次に、政策討論会についてです。今年度の政策討論会は、市民文教常任委員会主催により、令和7年2月8日(土)午後1時30分から、こどもと福祉の未来館で開催する予定です。先日、植竹委員長より、当日の受付等のお手伝いを広聴広報委員会にお願いされましたので、当日お手伝いに行くことができる委員におかれましては御協力をお願いいたします。集合

時間等は、詳細が決り次第、改めてお知らせいたします。

(委員了承)

散 会 (午後5時5分)